

エコアクション 21

環境経営レポート

2023 年度版

(2023 年 5 月～2024 年 4 月)



住み良い太宰府を未来に

豊かで住みよい太宰府であるために
また次の世代にそのきれいな街を繋げるために
私たちは公衆衛生の向上、地域社会の環境保全に
日々努めてまいります。

2024 年 7 月 20 日発行

株式会社 アメニティ太宰府

目 次

1.組織の概要	1
2.認証・登録の対象範囲	2
3.環境経営方針	3
4.環境経営目標	4
4-1.環境経営目標(2023年度まで)	4
4-2.環境経営目標(2024年度以降)	5
5.環境経営計画	6
6.当社の環境負荷特性と環境への取組内容	7.8.9
7.環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、 並びに次年度の計画	10
7-1.環境経営目標の実績とその評価	10
7-2.環境経営計画の取組結果とその評価	11.12
7-3.次年度の計画	13
8.環境関連法規への違反、訴訟等の有無	14
9.代表者による取組状況の評価及び見直しの結果	14

1.組織の概要

- (1)事業所名 株式会社アムニティ太宰府
代表者氏名 代表取締役 永井 武士
- (2)所在地 〒818-0119
本社 福岡県太宰府市連歌屋 1 丁目13-1
第 1 駐車場 太宰府市連歌屋 1491-33
第 2 駐車場 太宰府市連歌屋 1491-35
- (3)環境管理責任者 代表取締役 永井 武士
連絡担当者 事務部門 永江 亜矢
連絡先 TEL 092-924-4418
FAX 092-924-4419
E メールアドレス ame-d@amenity-dazaifu.co.jp
- (4)事業内容 ■太宰府市委託 一般廃棄物収集運搬業
収集区域・・・太宰府市内
一般廃棄物の種類
①可燃ごみ・不燃ごみ・ペットボトル・粗大ごみ
②し尿汲取り
③剪定枝収集運搬
■家電 4 品目収集運搬
■浄化槽清掃

(5)許可一覧

許可内容	許可期間
太宰府市一般廃棄物処理業許可証(許可第 3 号) し尿	2024 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日
太宰府市浄化槽清掃業許可証(許可第 4 号)	2024 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日
太宰府市一般廃棄物処理業許可証(許可第 2 号) ごみ	2024 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日
春日市一般廃棄物収集運搬業許可証(許可第 22 号)	2024 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日
鳥栖市一般廃棄物収集運搬許可証(許可第 28 号)	2024 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日
粕屋町一般廃棄物収集運搬許可証(許可第 04015 号)	2024 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

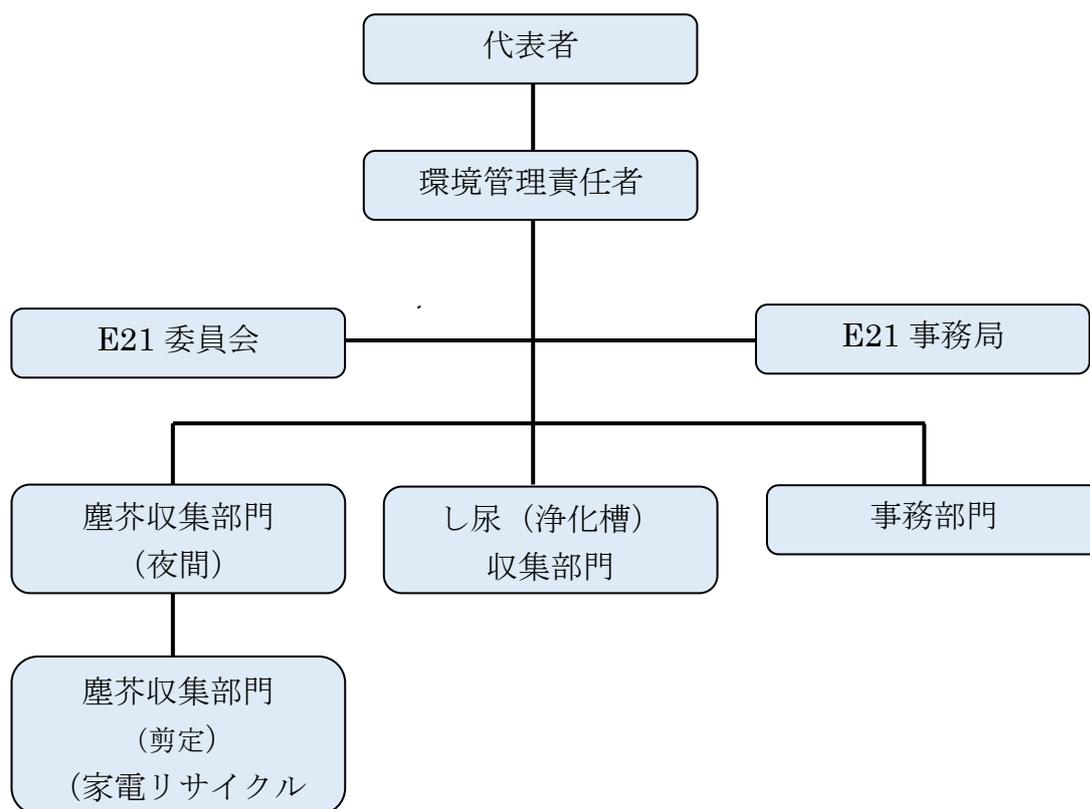
(6)事業の規模

- ・従業員数 15 名
- ・床面積 412 m² ・第 1 駐車場 23 m² ・第 2 駐車場 511 m²

(7)その他廃棄物処理業関係

- ・設立年月 1976 年 10 月 4 日
- ・資本金 2,000 万円
- ・売上高 売上高区分 A(=5 億円未満)

(8)EA21組織図



(9)保有車両 4tパッカー車 4台 / 2tパッカー車 2台 / 2tトラック 1台
4tバキューム車 2台 / 2tバキューム車 1台
10tバキューム車 1台 / 軽バン車 1台

(10)処理実績

2023年度 太宰府市一般廃棄物収集運搬委託業務実績(2023年5月～2024年4月)

可燃物(搬入先 クリーンパーク南部)	・・・	6,027t
不燃物(搬入先 太宰府市環境美化センター)	・・・	448t
ペットボトル(搬入先 太宰府市環境美化センター)	・・・	72t
し尿(搬入先 両筑衛生社)	・・・	1,329t
剪定枝(搬入先 大野城環境処理センター)	・・・	36t
家電4品目(搬入先 九州メタル産業 鳥栖営業所リサイクルセンター)		
冷蔵庫 44台 / テレビ 63台 / 洗濯機 41台 / エアコン 9台		

(11)廃棄物処理料金

処理運搬料金につきましては、種類、量によりお見積もり致します。

2.認証・登録の対象範囲

(1)対象事業所 本社、第1駐車場、第2駐車場

(2)対象活動 一般廃棄物収集運搬業、浄化槽清掃業

3.株式会社 アメニティ太宰府 環境経営方針

環境経営理念

株式会社アメニティ太宰府は、一般廃棄物(し尿、塵芥)収集・運搬において、地域の環境に配慮した収集・運搬業務に心がけ、社員一丸となって、社会貢献、地球環境保全に努めます。

また、環境を経営の大きな柱と位置づけ、構築した環境経営システムを適時見直し、環境経営の継続的な改善に努めます。

環境行動指針

1. し尿・塵芥の運搬車両のエコドライブを実施する等、二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
2. 当社から排出する廃棄物の削減に取り組みます。
3. 節水に取り組みます。
4. 環境保全に関する法規制およびその他要求事項を遵守します。
5. 環境経営方針を全社員に周知させます。
6. グリーン購入を積極的にすすめます。
7. 行政機関、地域などの環境保全活動に積極的に参加し、地域社会との調和を図ります。
8. 社員の人材育成に取り組みます。

制定日:2008年12月19日

改訂日:2020年5月1日

株式会社アメニティ太宰府

代表取締役 永井武士

4.環境経営目標

4-1.環境経営目標(2023 年度まで)

2023 年度の環境経営目標は、6 項目で設定しました。

2023 年度以降の中長期の環境経営目標は二酸化炭素排出量の目標値は走行距離当たりの原単位に変更しました。

(年度：5 月～翌年 4 月)

環境経営目標		単位	基準年度 実績	目標				
			2017 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ /t (運搬量当たり)	18.1	18.0 (△1%)	17.8 (△1%)	17.4 (△2%)	17.0 (△2%)	16.5 (△3%)
2	一般廃棄物排出量の削減	kg	1070	1059 (△1%)	1038 (△2%)	1007 (△3%)	967 (△4%)	919 (△5%)
3	総排水量の削減	m ³	158	156 (△1%)	154 (△1%)	152 (△1%)	150 (△1%)	149 (△1%)
4	環境保全活動への取組	回数 (クリーン活動等)	7	10	10	10	10	10
5	グリーン購入の推進	購入品目数	6	6	6	6	6	6
6	社員教育の推進	回数 (講習会参加等)	2	2	2	2	2	2

備考)・二酸化炭素排出量算定の購入電力排出係数は、九州電力(株)2017 年度調整後排出係数(0.463 kg-CO₂/kWh) を用いた。

- ・二酸化炭素排出量の目標値は運搬量当たりの原単位で示した。
- ・()は前年度に対する削減率を示す。ただし、2019 年度は基準年度に対する削減率で示す。
- ・化学物質は業務での使用実績がないため、目標から除外した。

4-2.環境経営目標(2024 年度以降)

2023 年度以降の中長期の環境経営目標は二酸化炭素排出量の目標値は、走行距離当たりの原単位に変更し、以下の通り 6 項目で設定しました。

(年度：5 月～翌 4 月)

環境経営目標		単位	基準年度 実績	目標				
			2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ /km (走行距離 当たり)	1.20	1.18 (△1%)	1.16 (△1%)	1.14 (△1%)	1.12 (△1%)	1.10 (△1%)
2	一般廃棄物排出量の削減	kg	1,020	1,010 (△1%)	1,000 (△1%)	990 (△1%)	980 (△1%)	970 (△1%)
3	総排水量の削減	m ³	150	149 (△1%)	148 (△1%)	147 (△1%)	146 (△1%)	145 (△1%)
4	環境保全活動への取組	回数 (クリーン活 動等)	7	10	10	10	10	10
5	グリーン購入の推進	購入品目数	6	6	6	6	6	6
6	社員教育の推進	回数 (講習会参 加等)	2	2	2	2	2	2

備考)・二酸化炭素排出量算定の購入電力排出係数は、九州電力(株)2022 年度調整後排出係数(0.462 kg-CO₂/kWh) を用いた。

- ・二酸化炭素排出量の目標値は走行距離当たりの原単位で示した。
- ・()は前年度に対する削減率を示す。
- ・化学物質は業務での使用実績がないため、目標から除外した。

5.環境経営計画

・2023 年度の環境経営計画は、設定した環境目標を達成するために、以下の取組目標と活動項目を定めて取り組みました。

環境経営目標	取組目標	活動項目	担当者	
1 二酸化炭素 排出量の削減	(1) ガソリン・軽油 使用量の3%削減	① 燃費確認のための走行距離の確認(し尿担当)	太田	     
		② 燃費確認のための走行距離の確認(ごみ担当)	原田	
		③ 走行前の車両点検	原田	
		④ エコドライブの実践	原田	
		⑤ 法定速度の厳守	原田	
		⑥ 急発進、急ブレーキをしない	原田	
		⑦ 走行ルート効率化	原田	
		⑧ 積載量確認	原田	
	(2) 電気使用量の 3%削減	① エアコンの温度設定のチェック (冷房 28 度程度、暖房 20 度程度)	川崎	   
		② エアコンフィルターの清掃の実施	永江	
③ 不要な照明等のOFF		川崎		
④ 太陽光発電装置の維持管理、数値チェック		永江		
2 一般廃棄物 排出量の削減	(1) 事務所から出る廃棄物 の5%削減	① 新聞、ダンボール等の古紙再生利用の徹底	角	  
		② ゴミの分別の徹底、記録	永江	
		③ ゴミの分別の徹底(剪定)	角	
3 総排水量の削減	(1) 洗車、生活排水 の1%削減	① 洗車等のこまめな蛇口調整	今泉	  
		② 洗い物時の流しっぱなしの禁止	川崎	
		③ 剪定枝袋洗浄の蛇口調整	角	
		④ 剪定枝袋洗浄の必要の有無	角	
4 環境保全活動 への取組	(1) クリーン活動 (10回)	① 会社周辺のゴミ拾い作業の実施	田籠	
		② 担当地域でのボランティア清掃への参加	太田	
5 グリーン購入 の推進	(1) グリーン購入 の推進	① グリーン購入を積極的にすすめる	永江	
6 社員教育の推進	(1) 社員講習会の実施 (年2回)	① 実務者講習会への参加	永江	
		② その他の社員講習会の実施		
		③ 社内勉強会の企画・実施		

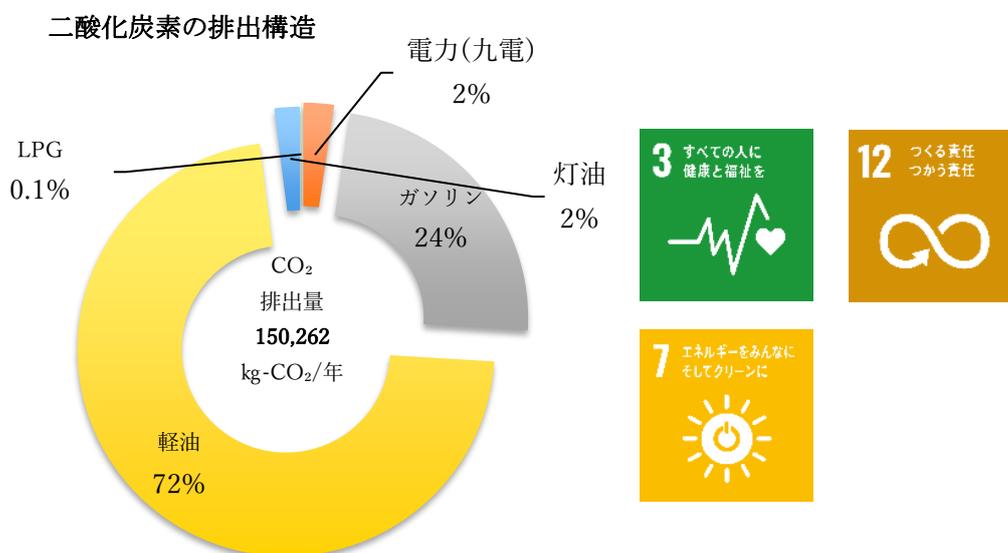
6. 当社の環境負荷特性と環境への取り組み内容

エコアクション21に取り組み始め10年以上になりますが、事業活動に伴い発生する環境負荷の削減や地域の環境保全活動など SDGs を意識し、取り組みに参加してきました。以下に、これまでの活動実績を取りまとめて示します。

(1) 二酸化炭素排出量の削減

二酸化炭素排出量の削減については、収集運搬車両の燃料使用量（軽油・ガソリン）が最大の環境負荷量であり、下記の円グラフの通り約9割を占め、電気使用量は約2%になっております。

二酸化炭素排出量は前年度より削減されておりますが、原単位（運搬量）で割るとわずかに増加しております。



環境負荷	単位	基準年度 2017 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	前年度 削減率
二酸化炭素排出量	kg - CO ₂ / t	18.1	18.1	18.8	18.9	19	+1%
	kg - CO ₂	161,021	156,629	157,810	153,465	150,262	-2%



〈太陽光パネル〉



〈蓄電池〉

(2) 一般廃棄物排出量の削減



・事業活動や事務所で排出される一般廃棄物量の削減に向けて分別など徹底し本年度は削減することが出来ました。

環境負荷	単位	基準年度 2017年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	前年度 削減率
一般廃棄物排出量	kg	1,070	980	1,040	1,065	1,020	-4%

(3) 総排水量の削減



・事業活動や事務所から排出される総排水量（地下水）の削減に取り組みましたが、本年度はわずかに増えてしまいました。

環境負荷	単位	基準年度 2017年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	前年度 削減率
総排水量	m ³	158	133	148	147	149	+1.3%

(4) 環境保全活動への取組



・環境保全活動への取組として、地域の清掃ボランティア活動への参加や、会社周辺の草刈りやゴミ拾いなど定期的にできましたが、目標達成にはなりませんでした。

環境負荷	単位	基準年度 2017年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	前年度 増減率
クリーン活動	回	7	5	6	6	8	+33%



〈水城ヶ丘ボランティア活動〉

(5) グリーン購入の推進への取組



・グリーン購入にも積極的に取り組みましたが、なかなかグリーン購入商品に適合するものが購入できませんでした。

改めて、今後も積極的にグリーン購入に取り組んでいきます。

(6) 社員教育の推進への取組



・環境経営目標に社員教育の推進をしており、毎年実施の実務者講習会への参加や、労働安全衛生規則等の一部改正に伴い作業で使用するテールゲートリフターの特別教育を外部講師を招き実施しました。



〈テールゲートリフター特別教育〉

7.環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の計画

7-1.環境経営目標の実績とその評価

- ・エコアクション21を運用した2023年度における目標に対する実績・評価は次のとおりです。
- ・環境経営目標 6 項目の内、総排水量の削減と社員教育の推進のみが目標達成となり二酸化炭素排出量の削減の目標が達成できませんでした。

環境経営目標項目	単位	基準年度 2017 年度 実績	2023 年度 (2023.5～2024.4)		目標 達成率	目標 達成 の 判定
			目標値	実績値		
1 二酸化炭素 排出量の削減	kg・CO ₂ /t	18.1	16.5 (△3%)	19.0	87%	△
	kg・CO ₂	161,021	148,860 (△3%)	150,262	94%	△
2 一般廃棄物 排出量の削減	kg	1,070	919 (△5%)	1,020	90%	△
3 総排水量の削減	m ³	158	149 (△1%)	149	100%	○
4 環境保全活動へ の取組	回数 (クリーン活動)	7	10	8	80%	△
5 グリーン購入の 推進	購入品目 数	6	6	3	50%	×
6 社員教育の推進	回数	2	2	2	100%	○

備考)・()は、前年度に対する目標削減率を示す。

- ・目標達成率の計算 削減目標の場合：実績値÷目標値×100、増加目標の場合：目標値÷実績値×100
- ・目標達成の判定区分 ◎：目標達成率 120%以上、○：100%以上 120%未満、△：80%以上 100%未満、×：80%未満

7-2.環境経営計画の取組結果とその評価

・2023年度運用での環境経営計画の取組は以下のとおりで、二酸化炭素排出量の削減に対する取組は社員に周知し積極的に活動をしてきましたが、結果として目標達成はできませんでした。

<1.二酸化炭素排出量の削減>

取組目標		目標達成状況	活動項目	実施状況
(1)	ガソリン・軽油使用量の3%削減	△	① 燃費確認のための走行距離の確認(し尿担当)	○
			② 燃費確認のための走行距離の確認(ごみ担当)	○
			③ 走行前の車両点検	○
			④ エコドライブの実践	○
			⑤ 法定速度の厳守	○
			⑥ 急発進、急ブレーキをしない	○
			⑦ 走行ルートの効率化	○
			⑧ 積載量の確認	○
(2)	電気使用量の3%削減	○	① エアコンの温度設定のチェック	○
			② エアコンフィルターの清掃の実施	○
			③ 不要な照明等のOFF	○
			④ 太陽光発電装置の維持管理、数値チェック	○

<2.一般廃棄物量排出量の削減>

取組目標		目標達成状況	活動項目	実施状況
(1)	事務所から出る廃棄物の5%削減	△	① 新聞、ダンボール等の古紙再生利用の徹底	○
			② ゴミの分別の徹底、記録	○
			③ ゴミの分別の徹底(剪定)	○

<3.総排水量の削減>

取組目標		目標達成状況	活動項目	実施状況
(1)	洗車、生活排水の1%削減	○	① 洗車時のこまめな蛇口調整	○
			② 洗い物時の流しっぱなしの禁止	○
			③ 剪定枝袋洗浄の蛇口調整	○
			④ 剪定枝袋洗浄の必要の有無	○

<4.環境保全活動への取組>

取組目標		目標達成状況	活動項目		実施状況
(1)	クリーン活動 (10回)	△	①	会社周辺のゴミ拾い作業の実施	△
			②	担当地域でのボランティア清掃への参加	△

<5.グリーン購入の推進>

取組目標		目標達成状況	活動項目		実施状況
(1)	グリーン購入の推進 (6品目)	×	①	グリーン購入を積極的にすすめる	△

<6.社員教育の推進>

取組目標		目標達成状況	活動項目		実施状況
(1)	社員講習会の実施 (2回)	○	①	実務者講習会への参加	○
			②	その他の社員講習会の実施	○
			③	社内勉強会の企画・実施	—

7-3.次年度の計画

2023年度の環境経営目標と環境経営計画の取組結果を踏まえて、次年度の計画は以下のとおりとしました。

〈環境経営目標〉

2023年度以降の中長期目標は原単位を走行距離にして、2023年度を基準年度として環境経営目標を改定しました。

〈環境経営計画〉

- ・活動項目は、現状の計画にガソリン・軽油使用量、電気使用量の確認を追加し、2024年度からの環境経営目標の達成を目指します。

8.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

- ・当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
- ・また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

法律名等	主な遵守事項	遵守確認
太宰府市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	許可書の確認 収集運搬条件の遵守確認	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	許可書の確認 処理基準の遵守確認	○
水質汚濁防止法	事故の有無の確認	○
浄化槽法	許可書の確認	○
悪臭防止法	規制基準の遵守、事故の有無の確認	○
自動車リサイクル法	自動車の点検	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器の状況確認	○
道路交通法	法定速度。積載量の確認	○
フロン排出抑制法	簡易定期点検の実施	○

○:遵守 ×:不遵守 -:該当なし

9.代表者による取組状況の評価及び見直しの結果

(1)取組状況の評価

- ・2023年度は二酸化炭素排出量の削減という目標が達成できませんでした。
- ・環境経営目標の各項目の取組目標はみな周知徹底していますが、なかなか結果に結びつきませんでした。日々の作業活動の中でもう一度徹底して取り組んでいきたいです。

(2)見直し結果

- ・2023年度は環境経営目標の達成状況が2項目しか達成しておらず二酸化炭素排出量の削減にはなりませんでした。

(株)アムニティ太宰府

代表取締役 永井 武士